

経営データ分析教育プログラム5年一貫コース事業（経営学研究科）

（経営学の科学的アプローチに基づく実践的データ分析・意思決定能力養成プログラム）

目標・目的

・経営学部早期卒業と経営学研究科博士課程前期課程早期修了を組み合わせた**5年一貫教育**により、**経営学の科学的知見を踏まえた深い科学的思考と高度なデータ分析**を実践でき、**産業界でプロフェッショナルとして通用する人材を育成**

・修得を目指す能力：

- [1]課題設定能力：経営学の知識に基づき、データを用いて解明すべき課題を自ら設定できる
- [2]データ整備能力：企業等で日々の業務から得られる多種多様なデータを自ら収集し、整理して、分析可能な形にまで整備できる
- [3]データ分析能力：自らデータの特性を理解してその意味を読み取り、統計学・データサイエンス等の分析手法を使って分析して結果を出せる
- [4]データ解釈能力：経営学の知識に基づき、分析された結果を解釈し、経営意思決定のための実践的示唆を導ける



産業界からの喫緊の社会的要請に応える、**実践的社会科学系修士人材**

必要性・緊急性

・SNS、IoT、ビッグデータ分析、人工知能など、先端技術の活用可能性が増す中で、様々なデータを分析して組織の経営課題や社会的・環境的課題の解決に活かすことのできる人材が求められている。

・社会科学系では珍しい5年一貫修士までの教育により、「経営データ分析に特化した修士人材」というこれまでにない能力を身に着けた人材を輩出する。

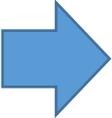
・理系データサイエンス教育で主に重視される[3]（や[2]）だけでなく、産業界から強く求められている、経営学の科学的知見に基づく[1]や[4]の能力も重視。

既存の経営学教育

（学部・研究科）

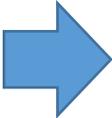
経営学の幅広い分野の教員によるゼミを中心としたデータ分析教育

体系化



国内トップレベルの教員によるデータ分析に基づく先端的研究

取込み



学部1年次

数学・統計学の基礎科目

経営統計

学部2年次前期

経営科学入門：経営科学の基礎的知識
経営データ分析（入門演習）：データの扱い方

学部2年次後期
～3年次前期

経営データ分析（各分野）：各分野の知識に基づきデータを用いて分析

学部3年次後期
～4年次前期

ゼミでデータ分析を学び、前期終了時点で早期卒業

前期課程1.5年

大学院でのデータ整備等の授業を受講、修士論文執筆

経営データ分析に特化した修士人材

学部3.5年間

修士1.5年間

企業との連携
データ提供
講師派遣
連携講座
共同講座